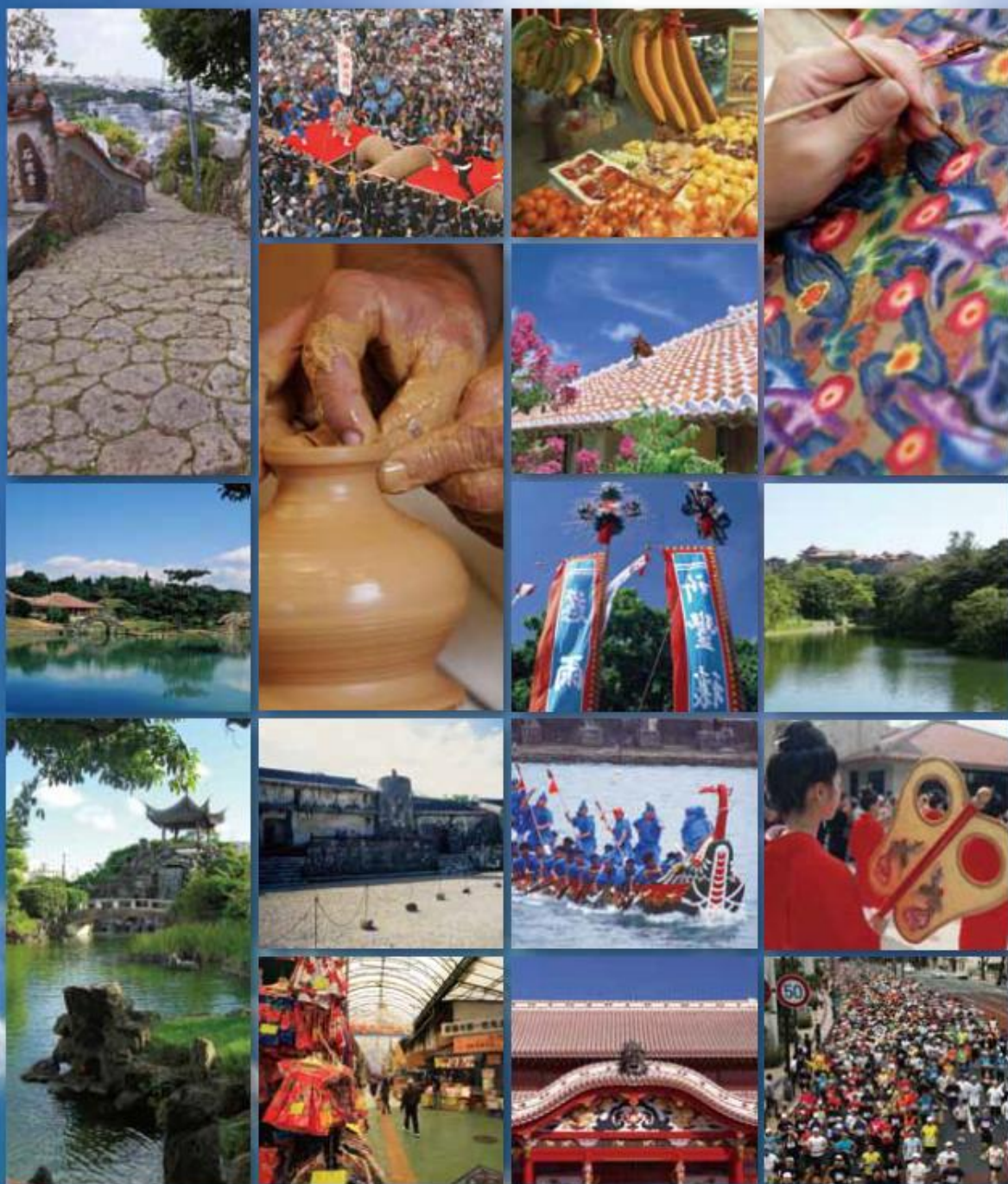


那霸市観光基本計画



目次

I	計画策定の趣旨	1
1	計画策定の目的	1
2	計画の位置づけ	1
3	計画期間	2
II	那覇市観光の現状と課題	3
1	那覇市をとりまく状況	3
(1)	世界的情勢	3
(2)	国の観光実態	3
(3)	観光客の志向と実態	8
(4)	沖縄県の観光実態	10
2	那覇市の概要	23
3	那覇市の現状と観光特性	24
(1)	那覇市の観光資源、地域資源	24
(2)	那覇市観光利用の実態	28
(3)	県外在住者、那覇市民から見た那覇市のイメージ・評価	36
4	那覇市観光の課題	44
(1)	那覇ならではの観光魅力向上	44
(2)	観光客受入環境の整備・充実	45
(3)	受け入れ体制整備と観光産業の持続的発展・人材育成	47
III	那覇市観光基本計画	48
1	将来像と目指す方向性	48
(1)	将来像	48
(2)	目指す方向性	49
(3)	将来目標値	50
(4)	マーケット・ターゲットの想定	51
(5)	観光ゾーニング	53
2	取組の展開	56
(1)	取組の体系	57
(2)	取組の内容	59
3	推進体制	72
(1)	計画の推進体制	72
(2)	行政、市民、民間事業者の役割分担	73
(3)	取組のスケジュール	74
(4)	計画進捗評価と進捗管理手法	75
	【参考資料】	76

3 那覇市の現状と観光特性

(1) 那覇市の観光資源、地域資源

那覇市には琉球王国に由来する文化や史跡が数多く残されており、平成 12 年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産登録された文化史跡 9 カ所のうちの 4 カ所や、それに関連する歴史的建造物や拝所・霊廟、民俗文化、風習などが存在します。

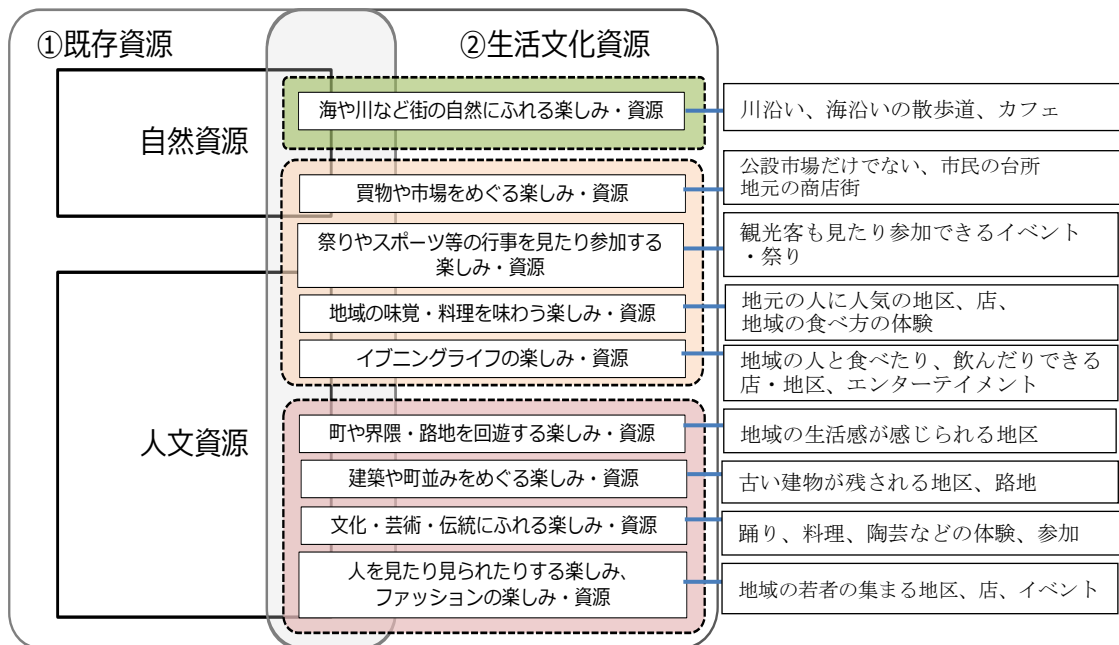
一方、市内中心部の国際通りは第二次大戦後の復興のシンボルとして市民の生活文化の中心であり、現在は県内有数の観光地でもあります。

市内で開催される行事は、那覇三大祭りである那覇ハーリー、那覇大綱挽、琉球王朝祭り首里などの伝統的な祭りの他、国際通りで開催されるエイサー大会や王朝行列、スポーツ大会など参加型のイベントも多くなっています。観光への経済効果も注目され、古の沖縄を体感できる伝統的なもの、参加型のもの、市民が主役となる祭りなどが積極的に開催されています。

また、水鳥などの野鳥が集まる貴重な環境としてラムサール条約に登録された漫湖湿地帯や、海水浴やダイビングが楽しめる波の上ビーチの他、泊埠頭から容易にアクセスが可能な慶良間諸島などの周辺離島もあり、都市部ながら自然体験を主目的とした観光も可能です。

これらの人文資源、自然資源のほかにも、那覇市には歴史や風土に培われた文化・伝統、沖縄の自然と共生しつつ発展してきた都市環境、那覇ならではの伝統工芸や生業、そこに生活する市民のマチグラー文化などの「生活文化資源」が多く存在します。本計画では、既存の人文資源、自然資源に加え、那覇市の有形無形の生活文化資源を観光資源の対象とします。(図表 II-31)

図表 II-31 既存資源と生活文化資源の関係



ア 既存資源の一例

既存の観光資源は、以下の通り自然資源と人文資源とに大別される。

自然資源(山岳、湖沼河川、海浜など秀逸した自然資源)	
植物	末吉公園の自然、首里金城町の大アカギ、ガーナー森、識名園のシマチスジノリ など
岩石/洞窟	仲島の大石
湖沼/湿地	漫湖湿地帯(ラムサール条約登録湿地)
海岸/岬/島	具志干潟、大嶺海岸、波の上ビーチ、慶良間諸島国立公園(慶良間)など

人文資源(歴史や文化の蓄積が有形無形として残され、保存されている資源)	
史跡	玉陵、円覚寺跡、上天妃宮跡の石門、伊江御殿墓、宜野湾御殿の墓及び墓域、読谷山御殿の墓、旧天界寺の井戸金城大樋川、旧御茶屋御殿石造獅子、末吉宮礎道、台湾遭害者之墓、渡嘉敷三良の墓、沢岬親方の墓、泊外人墓地、山下町第一洞穴遺跡、崎樋川貝塚、銘苅古墓群、火立毛、首里城、守礼門、円覚寺総門、真珠道跡、首里金城町石畳道、園比屋武御嶽石門、天女橋、龍淵橋、弁財天堂、真玉橋、ヒジ川橋及び取付道路、新垣家住宅、旧崇元寺第一門及び石牆、壺屋の荒焼のぼり窯など
碑(歴史)	ベッテルハイム記念碑、ペリー提督上陸記念碑、崇元寺下馬碑、劇聖玉城朝薫生誕三百年記念碑、新修美栄橋碑
庭園/公園	伊江殿内庭園、伊江殿内別邸庭園、首里城鎖之間庭園、識名園、福州園、松山公園、旭ヶ丘公園、森口公園など
戦跡/碑	第 32 軍司令部壕跡、大道森(ハーフムーンヒル)戦争遺跡碑、慶良間チーヅ(シュガーローフヒル)、南洋群島沖縄県人戦没者並開拓殉難者慰霊碑、海鳴りの像、小桜の塔、与那覇勢頭豊見親逗留旧跡碑など
寺社/拝所/ 樋川	波上宮、末吉宮、内金城嶽、弁ヶ嶽、美連嶽、雨乞嶽、崎山御嶽、佐司笠樋川、アモールシガー、加良川、安谷川、さくの川、寒水川樋川、王川など
博物館/資料館	沖縄県立博物館・美術館、那覇市歴史博物館、対馬丸記念館、那覇市立壺屋焼物博物館、那覇市伝統工芸館、プラネタリウム(牧志駅前ほしぞら公民館)など
伝統芸能/ イベント	琉球古典音楽、琉球舞踊 琉球歌劇、三線、組踊、踊り(安里フェーヌシマ、国場のウズンピーラなど)、旗頭、エイサー、獅子舞(首里汀良町、首里末吉町、字大嶺)路次楽、那覇ハーリー、那覇大綱挽、沖縄の空手・古武術など

イ 生活文化資源の一例

那覇市の生活や産業、文化に根差した「生活文化資源」は、都市の魅力となる9つの楽しみを醸成する有形無形の資源、地区を抽出しました。

(*ア既存資源との重複あり)

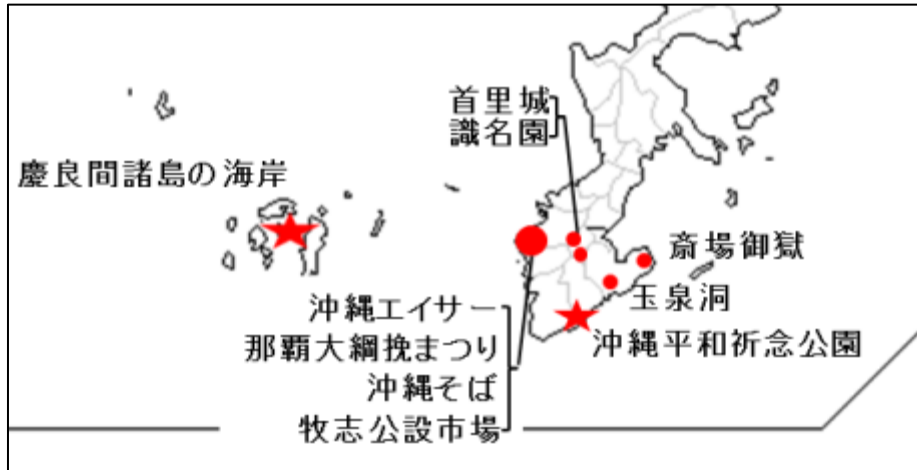
都市型観光の楽しみ・資源	資源の例	具体的資源・地区
まちや界隈・路地を回遊する楽しみ・資源	地域の生活感が感じられる一画	桜坂周辺、国際通り周辺、栄町市場、開南通り周辺、首里城下周辺、壺屋焼物通り周辺、浮島通り周辺、平和通り周辺など
建築やまち並みをめぐる楽しみ・資源	古い建物が残される一画、路地	首里金城町石畳道とその周辺、壺屋焼物通り、龍潭通りとその周辺、真境名スーヅ、玉那覇味噌醤油工場の石垣、神原中学校のトックリキワタ並木 など
海や川などまちの自然にふれる楽しみ・資源	川沿い、海沿いの散歩道、カフェ	漫湖湿地帯、龍潭、末吉公園、識名園、さいおんスクエア周辺、波之上周辺、金城ダムなど
人を見たり見られたりする楽しみ、ファッションの楽しみ・資源	地域の若者の集まる一画、店、イベント	国際通り、パラダイス通り、新都市地区など
買物や市場をめぐる楽しみ・資源	市民の台所、地元の商店街	国際通り、牧志公設市場、中央卸売市場、平和通り商店街、泊いゆまち、農連市場、Tギャラリア(DFS)など
地域の味覚・料理を味わう楽しみ・資源	地元の人に人気の一画、店、地域の食べ方の体験	沖縄そば、てびち・ソーキなどの豚肉料理、ゴーヤー、島らっきょうなどの島野菜料理、マグロ、グルクンなどの魚料理、ステーキ、ポーク缶、ハンバーガーなどのアメリカ文化食など
文化・芸術・伝統にふれる楽しみ・資源	踊り、料理、陶芸などの体験、参加	紅型、壺屋焼、沖縄料理、宮廷料理、旗頭、獅子舞、エイサー、琉球舞踊など
祭り・スポーツなどの行事を見たり参加する楽しみ・資源	観光客も参加できるイベント・祭り	首里城祭、首里城中秋の宴、壺屋やちむん通りまつり、壺屋陶器まつり、漫湖さくらまつり、なはさくらまつり、なは青年祭、那覇大綱挽まつり、那覇ハーリー、琉球王朝祭り首里、一万人のエイサー踊り隊、青年ふるさとエイサー祭り、沖縄の産業祭り、離島フェア、読売巨人軍春季キャンプ、NAHA マラソン、プロ野球観戦、プロバスケットボールbjリーグ観戦など
イブニングライフの楽しみ・資源	地域の人と食べたり、飲んだりできる店、施設、地区	民謡居酒屋、ジャズハウス、ライブハウス、劇場(てんぶす館・桜坂劇場など)、栄町市場、パラダイス通り、国際通り、松山地区、若狭地区、新都心など

ウ 那覇市周辺の観光地・観光資源

那覇市に近接する周辺市町村の主たる観光資源分布を図表Ⅱ-32 に整理しました。観光客は、市内のみを観光するだけでなく、那覇市を拠点として周辺地域を観光することも多く、周辺地域と連携することは観光振興にとって極めて重要です。

また、沖縄本島以外の島嶼部との連携も不可欠です。特に慶良間諸島は、平成 26 年 3 月に我が国で 27 年ぶりに国立公園として新規指定された地域であり、定期航路で 1 時間の時間距離で本市の都市機能と国立公園が結ばれていることは、本市に滞在する重要な魅力となります。

図表Ⅱ-32 那覇市周辺の主たる観光資源リスト(★特 A 級・●A 級)



出典：(公財) 日本交通公社の全国観光資源評価による特 A 級、A 級資源

図表Ⅱ-33【参考】

<参考> 全国観光資源評価とは
 (公財)日本交通公社が昭和46年～48年度に、旧建設省の委託による「観光交通資源調査・観光行動調査」の中で実施した「観光資源台帳」を元に平成25年度に観光資源再評価を実施したもの。全国で特A級は55件、A級は396件が評価され規定された。

観光資源ランクの定義		観光資源の種別	
資源ランク	定義	自然資源(10種別)	人文資源(14種別)
特A級資源	わが国を代表する資源であり、世界にも誇示しうるもの。日本人の誇り、日本のアイデンティティを強く示すもの。人生のうちで一度は訪れたいもの。	01 山岳 02 高原・湿原・原野 03 湖沼 04 河川・峡谷 05 滝 06 海岸・岬 07 岩石・洞窟 08 動物 09 植物 10 自然現象	11 史跡 12 神社・寺院・教会 13 城跡・城郭・宮殿 14 集落・街 15 郷土景観 16 庭園・公園 17 建造物 18 年中行事 19 動植物園・水族館 20 博物館・美術館 21 テーマ公園・テーマ施設 22 温泉 23 食 24 芸能・興行・イベント
A級資源	特A級に準じ、わが国を代表する資源であり、日本人の誇り、日本のアイデンティティを示すもの。人生のうちで一度は訪れたいもの。		

『観光資源評価委員会』構成員

<委員>

梅川 智也 / 公益財団法人日本交通公社理事・観光政策研究部長
 堀 千里 / 株式会社JTBパブリッシング執行役員
 志賀 典人 * 委員長 / 公益財団法人日本交通公社会長
 寺崎 竜雄 / 公益財団法人日本交通公社理事・観光文化研究部長
 林 清 / 元・公益財団法人日本交通公社常務理事
 日比野 健 / 株式会社ジェイティービー代表取締役専務
 溝原 良隆 / 公益財団法人日本交通公社理事(非常勤) / 帝京大学教授

<特別顧問>

今井 久吾 / 元・公益財団法人日本交通公社会長
 小林 清 / 元・公益財団法人日本交通公社会長
 新倉 武一 / 前・公益財団法人日本交通公社会長